

## 豊田地区

### 【平成17年度から18年度】

平成17年4月、1市3町1村が合併し新しい磐田市が誕生しました。と同時に各市町村の体育協会も4月1日をもって対等合併をし、新しくNPO法人磐田市体育協会となり、旧豊田町体育協会も発展的な解散となりました。

そこで、27名の社員を募り5名の理事を推薦し新しい体育協会に参加、豊田支部に生まれ変わりました。これからの支部をどのようにと考えた末、今までであった会長氏名理事（総務委員会）と22行政区の体育部で対応することにしました。会長氏名理事を3つのグループに分け、体育部を1つのグループとし、4つのグループで活動を始めました。

当初は一気に合併ではなく、ゆるやかな合併がうたわれていたので、今までの自分たちの考え方を再確認しました。旧豊田町の体育協会には競技団体のための体協、町民のための体協という二つの顔がありました。競技団体は解散し、新しい競技団体に加盟したため、体協が主催してきた事業について考え、完全合併になるまでの間、今までの考え方で進めていくということを再確認しました。

主たる行事は元旦マラソン、長藤マラソン、車椅子ツインバスケットボール大会、豊田地区駅伝大会、熊野の里ウォーキング、スポーツスクールなどでした。ウォーキングについては平成18年よりいかまい磐田100<sup>キロ</sup>ウォーキングとなりました。

### 【平成19年度から平成20年度】

平成19年度より今までの支部が「地区」に変更となりました。今までの地域色の濃い行事が整理されてきました。そこで今までの支部組織を見直すことにしました。

22あった行政区の体育部も自然解消し、かつてのように機能なくなってしまう、組織の誠編成をせざるを得ないことになったわけです。

そこで、3人の副地区長をチーフとして会長指名理事を6つに分け、2グループを配置し、残り少なくなった体育部をひとまとめにし、地区所属の団体4つをまとめることにしました。

車椅子ツインバスケットボールも長藤マラソンも実行委員会ができ実施されるようになりました。豊田地区で行ってきた主な行事も新体協に受け継がれ盛んになってまいりました。

平成20年になり、各種行事に地区として対応する

のに問題が生じてきたのでお連絡網を新しく作り直し、現在に至っています。また豊田地区体協の拠点であったアミューズ豊田の新しい指定管理者が決まったことも再編成の要因ともなりました。アミューズ豊田のスポーツ施設の指定管理者は変わりましたが、今まで以上に親切に対応していただき深く感謝しております。

|             |       |       |  |
|-------------|-------|-------|--|
| 豊田地区長       | 鈴木 康之 |       |  |
| 副地区長        | 水野 貞男 | 佐藤 康夫 |  |
|             | 守屋 勝治 |       |  |
| 地区長指名       | 清水 万大 | 寺田 悦  |  |
|             | 佐川 正治 | 鈴木 光男 |  |
|             | 八木 伸一 | 平野 勝典 |  |
|             | 山下 一夫 | 雪嶋 省五 |  |
|             | 松井 良子 | 寺田 晴男 |  |
|             | 芥川 栄人 | 高橋 正巳 |  |
| サッカー部       | 井上 隆志 |       |  |
| マラソン部       | 沢 昭夫  |       |  |
| グラウンドゴルフ部   | 鈴木 貢  |       |  |
| スポーツ少年団代表   | 高田 欣洋 |       |  |
| 体育部代表       | 広幡喜代輔 |       |  |
| ソフトボール親睦会   | 和田 収介 |       |  |
| 豊田卓球クラブ     | 大橋 寛二 |       |  |
| 豊田健友クラブ     | 高田 静彦 |       |  |
| 豊田バドミントンクラブ | 深津 直宏 |       |  |
| バレーボール部     | 青島久美子 |       |  |
| ゲートボール部     | 永田 昭男 |       |  |